

第 10 回

福知山市新文化ホール整備基本構想・基本計画検討委員会

会 議 録【概要版】

【日 時】 令和 5 年 7 月 21 日（金）14:00~16:00

【場 所】 福知山市厚生会館 中会場

【出席者】（委 員）11 名 欠席 2 名（井出委員、伊東委員）

（事務局）文化・スポーツ振興課 井上課長、西村課長補佐

シアターワークショップ 伊東、真木、長谷川

1 開 会

2 開会挨拶

3 協議事項

（1）前回委員会のまとめと質問事項の確認

（2）パブリックコメントの内容・市回答まとめ

（3）前回委員会・パブリックコメントを踏まえた基本計画（案）の変更内容

4 その他

5 閉会

【議事】

（1）前回委員会のまとめと質問事項の確認

○事務局より説明

委員 : 第 9 回の会議録 p1 に「類似規模施設の事例について改めて報告する」とあるが、
その場で回答があったため、この記載については不要ではないか。

事務局 : ご指摘の通りである。会議録を修正する。

（2）パブリックコメントの内容・市回答まとめ

○事務局より説明

事務局 : パブリックコメントをいただいた人数は、匿名希望 2 人を除いて 84 人である。
その中で、計画を全面的に支持する方が 54 人、一部に異論のある方は 19 人、
計画自体を支持しないという方は 6 人であった。一部に異論のある方のうち、場
所についての異論のある方が 14 人、規模についての異論のある方が 1 人、場所
と規模両方についての異論のある方が 4 人という内訳である。計画自体を支持

しないという方々は、コスト面において賛同できないというご意見であった。

委員長：匿名の方のご意見は内容に含まれているか。

事務局：件数としてはカウントしていないが、同様の意見が匿名ではない方からもあった。

委員：84人という人数は市のこれまで実施した他のパブリックコメントと比べて多いか。

事務局：他のパブリックコメントより多いと思われる。基本構想時は37人であった。

委員：どのような応募方法によって回答者が増えたかわかるか。

事務局：前回との比較はすぐには分からないが、オンラインで50人近く、書面で30人ほどの提出があり、幅広い世代からご意見をいただいている。

委員：パブリックコメントを見ると、施設のスペックに対してのご意見が多く、基本理念等に対する意見が少ない。今後の検討においては、そういった部分がより市民に伝わるような書き方にしていかななくてはならないのではないかと感じた。

委員長：運営や自治体の活動イメージは、普段活動に接していない方々には分かりづらいため、敷地や規模、設備の部分に意見が集まりやすい。今後、より分かりやすい内容を検討すると良い。

事務局：管理運営や市民参加についてのご意見もいただいているため、参考にしつつ進めていく。

委員長：このパブリックコメントの件数は他の自治体と比べて多い。更に関心を広げていくための努力はこれからも行っていく必要はある。少ないとはいえ、運営等に対するご意見も二桁ほどある。内容を読み込んだご意見のため、市としてもきちんと受け止めるべき内容だろう。

施設規模を巡っては、委員会でも議論を行ったが、パブリックコメントでも様々なご意見があった。また、コストについてのご意見もあった。席数を多くしてコストを安くするというのは不可能であるため、市民の方々にとって使いやすく、文化活動を活性化するための施設としていこうという方向性を持ちながら、引き続き色々なご意見を聞き、可能ならば少し席数を増やすことを検討する、という方針が良いのではないか。

浸水リスクについても認識しているが、厚生会館は1962年に多額の寄付によって建設費が賄われ、市民や市内企業の支えとともに生まれた。そういった経緯も大切にする必要はある。

委員：新文化ホールがこのまちにどういった効果を及ぼすかを市民に理解していただく必要がある。駅から広がって回遊性を高める計画を、さらに市民に広めていくことが必要なのではないか。

(3) 前回委員会・パブリックコメントを踏まえた基本計画(案)の変更内容

○事務局より説明

委員 : コンサートホール等では磁気ループを敷設している場所が多い。本施設でも敷設をお願いしたい。

委員長 : 障害のある方への対応は様々な方法があるため、具体的な計画の中で検討していただきたい。パブリックコメントにもご意見があった。国でも省庁横断的に障がいのある方々の文化活動を支援するための法整備が行われている。類似施設も含め市内全体で考えていくこととなるだろう。

委員 : 市民活動における必要な設備や人材を検討していくにあたって、行政が市民団体の活動を認知していただくことが必要であると思う。

委員 : 近年、学生のまちであるということが福知山の特徴、活性化のきっかけとなっている。学生が利用だけでなく運営にも関わっていく仕組みがあると良い。子どもたちが活動を続けていくための投資と考えて、学校や児童・生徒・学生が使いやすい料金体系となると良い。

委員 : 管理運営手法について、説明会で「直営か、指定管理か」という質問があった。どのように決めていくのか。

事務局 : 基本計画では両方の可能性を検討する、としている。どのような文化施策を市民に提供するのかを定めた上で、両方の可能性を検討する。

委員 : どちらとするかは、行政が判断するのか。

事務局 : 条例を策定することになるため、議会の判断もある。市民のご意見も伺っていく。

委員長 : 指定管理には、職員が勤務を継続できない、給与が伸びない中で働かなくては行けない等、課題がある。指定管理は効率的・効果的な運営を目指しているものだが、効率の部分のみが注目されている。

委員 : 2000年代初頭に直営や財団の能率の悪さを改善するという目的で指定管理者制度が整備された。しかし、民間はまず利益が必要なため、できることに限界がある。どちらが良いとは言い切れないが、文化施設は利益を生むために作られていないため、効果的、効率的であれば良いという話ではないというのが原則である。近年、直営館で全国の中で活動が目立つ施設が増えてきている。「利益ではなく必要なことを提供する」ということは民間よりも行政の方が考えやすいためである。近年、公立ホールで働きたいという学生が減っている。雇用期間の問題などが原因であり、若い方が働くことを魅力的に思う方法を考える必要がある。

委員長 : 最後に、この1年を振り返って、皆さんに一言ずついただきたい。

委員 : 市民が市民のためにやるのが重要であり、福知山はそれに向いたまちであると思う。市民のやりたいことを専門家に任せるという発想ではいけない。専門家は使い勝手の良い道具ではない。市民活動は素晴らしいが、活動をしている方々自身が、その活動を他の市民にも意味のあることにしていかななくてはならない。それをうまくいくようにする方法を行政も考えていかないといけない。

- 委員 : 淑徳和太鼓では、日頃の活動の成果を発表する際、感謝とコミュニケーションを大切にしている。市民に支えられた活動を発表する新たな場を作ることに携わることができ、学びがあった。さらに充実した施設となることを願っている。
- 委員 : さらに多くの方にパブリックコメントをいただく方法もあったのではないかと
思う。設計段階でも市民の方に分かりやすい説明を意識していただきたい。
- 委員 : 一年間、楽しく議論ができたことが良かった。委員会ではもっと夢を語って良か
ったのかもしれない。後世に負担を残さないということも重要だが、「攻める」
ことも大切である。
- 委員 : 市の体制をより強化していただくと良いのではないか。厚生会館をしっかりと閉
館し、新たな施設をオープンしてほしい。市民にとって他人事にならないため、
市の主催事業をやる必要がある。市民が開館後のことを想像できるようにしな
くてはならない。また、福知山には生かせる人材が多くいるがコーディネートで
きる人材がいない。熱意を持っている方々がいらっしゃるので、もっと熱意をも
って検討すべき。
- 委員 : 文化ホールは決して採算性のある施設ではないため、どのような効果、活性化が
あったのかを説明可能にする必要がある。基本構想、基本計画の内容を市民に丁
寧に説明していくことが必要である。
- 委員 : 福知山市の発展に今後も貢献するため、参加していきたい。
- 副委員長: まちのためのシンボリックな文化芸術会館になるために、行政でしっかりとバトン
タッチしていただき、実施設計等を進めていただきたい。
- 委員 : 基本計画に対するパブリックコメントで異論を唱えていらっしゃる方々は、費用
面について課題をもっているため、丁寧な説明が必要と考えている。また、計画
に反映いただきたいというわけではないが検討の参考として、前例はないが、運
営主体として地方独立行政法人を設立するという事も考えられないか。
- 委員長 : パブリックコメントを見ても、当時の方々の想いを引き継いでいく必要があると
考えている。委員からも「もっと熱く」というご意見もあった通り、今後もその
想いを継続する形で検討していただきたい。
- 委員 : 新文化ホールが市民の暮らしにどう反映されるのか、具体化する必要がある。回
遊性の面では、新文化ホールの整備も踏まえて「官民連携まちなか再生推進事業」
にも取り組んでいく。体制についてもしっかりと進めていきたい。
- 委員長 : 基本計画については、本日訂正された案でご承認いただいたということで良いか。
異論がないため、承認されたということで、基本計画策定に向けて進める。

4 その他

5 閉会